



第5章

新「山鹿市」誕生

1. 開庁式

山鹿市役所
山鹿総合支所

開庁式典次第

と き 1月15日(土)午前9時00分
ところ 山鹿市役所本庁舎玄関前

- 1 開 会
- 2 国旗、市旗掲揚
- 3 式 辞 市町職務執行者 杉 焼 義 文
- 4 来賓祝辞 熊本県知事 潮 谷 義 子 様
県議会議員 古 閑 三 博 様
- 5 除 幕 市町職務執行者 杉 焼 義 文
鹿本地域振興局長 金 子 達 郎
旧市町長代表 河 村 修 児
旧市町議会議長代表者 寺 崎 勇
旧市町囑託員代表者 佐 藤 修
- 6 テープカット及びくす玉割
 - テープカット 市長職務執行者
旧市町長
旧市町議会議長代表者
 - くす玉割 県議会議員
旧市町囑託員代表者
- 7 閉 会



式 辞 (開庁式)

2005年1月15日の本日、県北に新しい郷土『山鹿市』が誕生いたしました。この日を迎えますまで、各々に歴史を重ねた旧1市4町住民の皆様のご御理解と志しを共にし、険しき課題を乗り越えて参りましたが、互譲と信頼の熱き心が確かな道筋を示す力となり、実を結ぶことができました。



地方自治背景の厳しき時代に備える戦略であることの共通認識のもとに、ご尽力承りました首長・議会・合併協議会を始め、御指導いただいた県当局、県議会の先生方各位に対し、深甚の誠意を表しますと共に、事務方職員の労に対しても心よりお礼申し上げます。

新市は、活路の道筋に、「人・はぐくむ」「暮らし・みのる」「産業・ひらく」のシナリオがあります。住民の期待に応えるべく、その具現化の拠点となる本庁、総合支所の機能充実が、急務の課題であると考えます。

また、未来に向かっては、新市全域に亘る豊富な人材、自然と資源・文化的財産に光を充て、6万住民の知恵を武器とした「活力」と「個性」ある地域づくりを進めていかなければなりません。

そして、その歩みのキーワードは、協調と協働にあると考えます。新市『山鹿』の歩みのパートナーが、住民の皆様であることの認識を忘れること無く、山鹿に潜在する『総合力』を駆使した“理想郷土”建設を目指さなければならないと考えます。

本日から市民の皆さんと共に拓く、日一日の営みが、「まほろば創生」への歩みとなる事を信じ、開庁にあたっての挨拶といたします。

平成17年1月15日

山鹿市長職務執行者 杉焼 義文

2. 行政組織図 (H17. 1. 15)



